

第63回 県自治研 in東温

経済・社会維持する最大のチカラは地域にこそ 「住み続けられるまちづくり」の視点で考えあう



第550号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二

(組合員の購読料は組合費
のなかに入っています)

日 程

- 【11月】
 - 14 自治労連独自中央行動・秋の「ほこイカ“3T”アクション」集中Day 全国いっせい労働相談ホットライン
 - 23 地域医療を守る運動全国交流会 (web)
 - 25 今治水道労組定期大会 県本部拡大執行委員会 (web併用) 県市町振興課要請
 - 26 四国ブロック定期総会・事前会議 (香川)
 - 27 四国ブロック共済学校 (香川)
- 【12月】
 - 3 自治労連春闘交流会 (web)
 - 10 県本部拡大執行委員会 (web併用) 自治労連共済県支部会議 青年部幹事会
 - 11 自治労連組織集会 (web)

11月6日、東温市での「第63回地方自治研究愛媛県集会」に73人(県本部15単組62人、講師・助言者・市民など11人)が参加し、分科会と全体会で学び合いました。

■午前(分科会)は、①「地域活性化と移住・定住・公共交通」(23人)、②「住・公共交通」(16人)、テーマに沿って仕事の状況や職場の課題を交流し、(9人)、④青年講座 ポート報告・助言者アド 学びあいました。

「公共交通」は住民の『生存権』 地域とつながり人生を豊かにする

■午後(全体会)は「2つの報告」と「記念講演」を行いました。【報告①】「チョイソコの取り組みの現状と課題」講師・大石一浩さん(松山市久枝地区まちづくり協議会)、【報告②】「内子町デマンドバス」講師・兵頭和也さん(内子町職)から、地域と人をつなぐ公共交通の役割の現状と課題について実態を伺いました。大石さんは、松山市の久枝地区と小野・久米地区での相乗りタクシー事業

「地域が活性化すると」「豊かになる」とは 住民ひとり一人の生活が向上するということ



【記念講演】は「住み続けられるまちづくりに向けて」として、岡田知弘さん(京都大学名誉教授・京都橋大学教授)が講演。「今をどう捉えるか。1つは大災害の時代、もう1つはグローバルの時代であるということ。大災害や感染症が起きる今、一番大事なのは人間の命。憲法にも書かれている、命を守り普通の生活を営む地域をつくるか」「地域からものをみることが重要。地域の経済社会を維持する最大の主体は、

中小企業・業者、農家、協同組合、NPO、そして地方自治体。国や地方自治体が誰のためにあるべきかが鋭く問われる時代だ。など話しました。また「戦後の地域開発の基本的考え方は『大型公共事業』や『大企業誘致』で、ほとんどが失敗、それは地方の利益が本社に

移されるから」と指摘。「『地域が活性化』『豊かになる』とは、住民一人ひとりの生活が向上すること。立派な建物や大企業があっても住民が住み続けられなければ地域の『活性化』とは言えない。『地域発展の決定要素は『地域内再投資力』。地域の経済主体がずっと地域に再投資を繰り返し、維持発展させること」とし、全国の実例を紹介。さらに、地方自治体の産業政策が住民生活の向上に直接つなげる



◎「参加者の感想」
◎「県内の公共交通」を巡る状況と課題
■交通弱者が抱える課題を実感できたと同時に解決のヒントも見えたが、全ての住民に満足してもらえないことは難しい現実も再認識した。■地域交通をいかに維持するのか、利用者を中心に増やすのか。そのヒントを感じる事ができた。■両方とも画期的な取り組みだと思った。



で、少しでも各市町の活性化の糸口になっていくといいと思う。■保育士が足りないとは思いますが、国が変わらないし、頑張るしかないと思ってきましたが、今日の話を聞き、やっぱり子どもたちのためにこれからは保育士となる人たちのためにも変えていかないとはいけないなと思いました。■今回の会に参加して、これからの子どもたち、自分(保育士)たちのためにも保育士の数を増やして質の高い保育士ができるようになればと思いましたが、学校給食のセンター化・委託化が、どんどん進んできているが「アウトソーシングの見直し」提言について、もっと声を大にして言っていかなければならない。■ワークショップで、各自治体職員の声の聞こえることのできる、とても有意義な会でした。



子育て応援・働きやすい制度づくり 人材確保など市職評で要請



【市長会長要請】

県本部市職評議会は10月27日、総会と県市長会長要請を行いました。総会では新役員体制と今日の要請について確認。要請では武智会長（伊予市長）に要請書を手渡し、森賀県本部委員長が主旨と重点を説明。県市長会からは「要請の主旨は各

地域医療確保、会計年度職員改善、 定年引上げなど町村評で要請



【町村会長要請】

県本部町村評議会は10月28日、総会と県町村会長要請を行いました。森賀県本部委員長が主旨と重点を説明。佐川会長（砥部町長）から「要請いただいた内容は9町の首長に伝える。医師・看護師不足問題は砥部町も同じ」「会計年度任用職

【現業評】 「公共取り戻そう」現業は住民の ライフライン支える大事な仕事



10月8日「2022年度四国ブロック現業学習交流集会」が開催され、全体で26人、愛媛から4単組19人が参加。講師の自治労連本部佐賀達也さんは「公共を取り戻すために公務のアウトソーシングを考える」と題して、抱負な資料をもとに「全国で清掃・学童・保育・学校給食部門等で民

【書記部会】 定期総会開催。自己紹介 共済活動について意見交換



県本部書記部会は11月1日、定期総会を開催し9単組13人が参加。午前中の総会では、経過報告と県本部・単組への要望書内容と12月県本部執行委員会への提出、今年度世話人など確認。総会後の交流では、各自作成の『自己紹介シート』で自

【医療介護評】 定期総会開催。働きやすい職場は 労組活動でこそ！職場状況も交流



医療介護評議会は10月29日、第37回定期総会を開催し、リモート併用で5単組9職場から13人が参加。総会に当たり全体学習では県医労連・高橋書記長から「働きやすい職場環境」と題して職場アンケート結果や実際に起こった事案に基づき医療職場の課題について講

【青年部】 愛知青年部とWeb交流会開催 規模広げて次の企画を約束！



青年部は10月15日、幹事会を開催し5単組6人が参加。単組報告に続いて、県自治研青年講座の役割分担、当日の進行内容を確認し、幹事が各班に入ってワークシoppを進め、まとめていくことを確認などを行いました。幹事会後、18時から愛知県本部青年部とwe

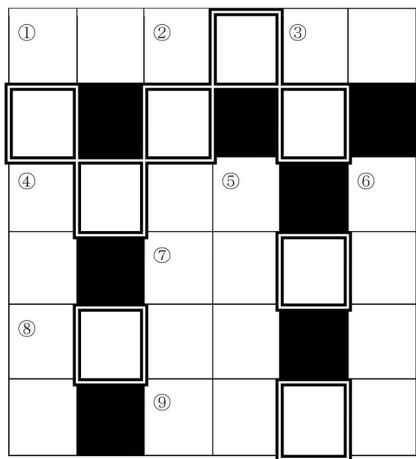
マス目を埋め、二重枠の8文字で、東京のかつてのシンボルにして下さい。

【ヨコのカギ】

- ①来年のことを言うと〇〇〇〇〇〇
- ④モルタルの日本語の呼び名
- ⑦週の第一日。土曜の次の日
- ⑧映画「〇〇〇〇オブミュージック」
- ⑨気力のない。なまける。〇〇〇〇な生活

【タテのカギ】

- ①男以上に気性が強く、しっかりしていること
- ②趣味としての園芸、庭いじり
- ③茨城県、読みは「いば〇〇けん」
- ⑤同じ場所に集まる。〇〇〇〇に会する
- ⑥蚊の幼虫



出題者 堀川孝行

■548号のバズルの答えは「ジウノメガミ」（自由の女神）でした。正解は16通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

山本 美紗（新居浜）
相田紗也可（伊予）
倉田真奈美（宇和島）
井上 裕也（西予）
藤井 隆嗣（新居浜）

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2（FAX、メールも可）1面題字下に記載
【締切り】12月27日【発表】552号（1月号）

おたより ありがとう

がちよつとした喜びです。（新居浜・大坪）
■地方祭が終わって寂しい今日この頃。写真や動画を見返して来年に思いを馳せています。（新居浜・山本）
■急に寒くなり体調を崩す人が多いですね。体調管理には気をつけたいと思います。（宇和島病院・新城）
■うちの実家にはポメラニアンがいます。嫁の実家にはゴールデンレトリバーがいます。仲は良くありません。うちの

■3年ぶりに開催された新居浜太鼓祭り。今年はケーブルテレビで楽しみました。（新居浜・川井）
■10月は各所で秋祭りが開催され、新居浜でも3年ぶりとなる太鼓祭りが開催されました。太鼓台が大好きで祭りが一年の始まりである友人から3年ぶりの「あけましておめでとう！」を聞けたの

■昔、ウルトラクイズに参加したいと思っていて、自由の女神の冠の角は七本とか足にはちぎられた鎖があるとか、そんな無駄知識を集めていた高校時代を思い出しました。（西予・山里）

■「公共を取り戻すために公務のアウトソーシングを考える」と題して、抱負な資料をもとに「全国で清掃・学童・保育・学校給食部門等で民